

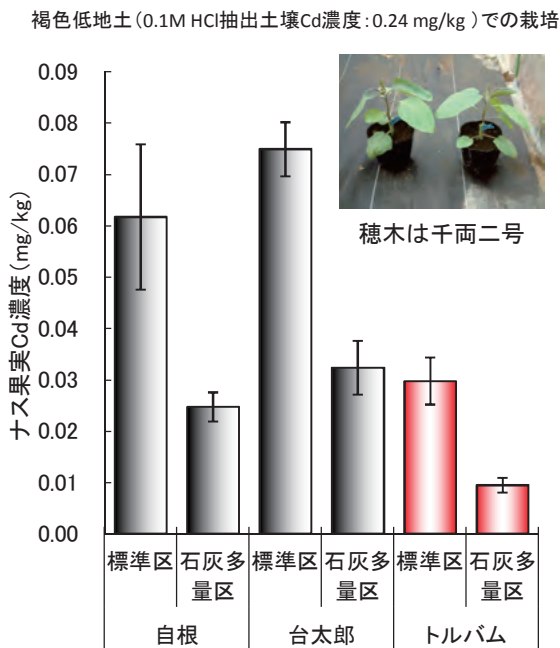
## 接ぎ木栽培でナス・トマトのカドミウム濃度を低減

### 【成果の特徴】

トルバムビガー (*Solanum torvum*) 台木により、ナス果実の Cd 濃度は 50~60% 低減しました。アルカリ資材との併用により、ナス果実の Cd 濃度はさらに低減しました。また、ツノナス (*Solanum mammosum*) 台木により、トマト果実の Cd 濃度は約 60% 低減しました。

### 【成果の内容】

ナス果実 (千両二号) の Cd 濃度は、自根栽培や台太郎が台木の時に比べて、トルバムビガー台木で 50~60% 低くなりました。また、トルバムビガー台木と石灰の多量施用 (通常の 3 倍量) を併用することで、ナス果実の Cd 濃度はさらに低減しました。ツノナスをトマト (桃太郎ゴールド) の台木に用いることで、収量や味に影響なく、トマト果実の Cd 濃度を約 60% 減らすことができました。



標準区 (120kg石灰/10a)、石灰多量区 (360kg石灰/10a)

図 1 台木とアルカリ資材の組み合わせによるナス果実の Cd 濃度への影響  
ポイント: トルバム台木と石灰多量区でナス果実の Cd 濃度が大幅に低減しました。

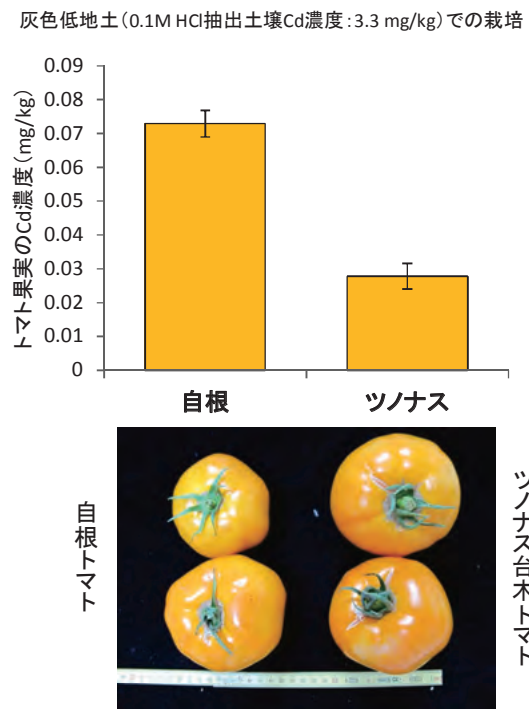


図 2 ツノナス台木によるトマト果実の Cd 濃度と収量への影響  
ポイント: ツノナス台木により、収量や味に影響なく、トマト果実の Cd 濃度が低減しました。

### 【研究担当者氏名 (所属機関名)】

竹田宏行 (新潟県農業総合研究所・園芸研究センター), 森川クラウジオ健治 ((独)農研機構・野菜茶業研究所)